

自社のパソコンで始める経理DX

～ 迫るインボイス制度・改正電子帳簿保存法の対応 ～

社会のデジタル化が急激に加速しており、その潮流は建設会社も例外ではありません。電子帳簿保存法やインボイス制度といったバックオフィスに関わる法制度の適用が急務となっています。

本セミナーでは法制度の内容を解説し、速やかにデジタル化に対応するには、まず何から始めるべきか、デジタル化が企業にどのようなメリットを与えるか、経営に活かすためのDXとは何かを事例も交えて説明します。

■ セミナー内容

- 1) 経理に迫る国内環境変化（5つの大波）
- 2) 改正電子帳簿保存法への対応
- 3) なぜ、今、経理DX推進が必要なのか？
- 4) インボイス制度に向けた準備
- 5) 電子請求書サービスを選ぶ際のポイント
- 6) 経理部門に導入が進む自動化ツール
- 7) データ活用による新たな資金調達の潮流
- 8) IT導入補助金2022

■ セミナーのポイント

- ・デジタル化/DXの導入ステップが理解できます。
- ・改正電子帳簿保存法についての具体的な対応が学べます。
- ・インボイス制度って何？何が変わるの？建設業特有の問題は？にお答えします。
- ・PC 1台でDXを成功させるヒントが詰まっています。
- ・IT導入補助金の概要及び申請方法が理解できるようになります。

■ 日時【対面・オンライン】

2022年7月5日（火） 13:30-15:30

■ 開催場所（対面／定員48名）

港区虎ノ門4-2-12虎ノ門4丁目MTビル5階

■ 受講料

10,000円（税込）
（登録建設業経理士の方は建設業振興基金の半額補助により税込5,000円）

■ 申込方法（先着順）

当財団HPよりお申し込みください

<http://farci.or.jp/seminar/19-jitsumu/kensyu3-25>

■ 講師



武田 健一（たけだ けんいち）： ITコーディネータ

コンサルティング会社における建設会社の調達改革、コンビニ本部建設部、事業会社建設部長の経験を活かした実践的な手法による建設業デジタル化支援を得意とする。

2020年よりITコーディネータ協会の共通EDI推進サポーターとして中小企業の企業間電子商取引（EDI）導入支援に数多く携わる。